

JICA 課題別研修「アフリカにおける女性のビジネス・起業の推進」 研修実施要領（概要）



事業の枠組み： JICA 課題別研修（開発途上国の政府・公共団体関係者等が来日し、各研修テーマに沿って日本式の技術や制度を学ぶ研修）

事業名： アフリカにおける女性のビジネス・起業の推進

研修期間： オンライン研修 2024年3月7日（木）～3月14日（木）

来日研修 2024年3月21日（木）～4月6日（土）

講義の言語： 日本語または英語

※研修生とのコミュニケーションは英語となりますが、日⇄英の通訳がつかますので、日本語でも問題ございません。

講義の形態： 来日研修

研修生人数： 約10名

研修生国籍： 英語圏アフリカ諸国（チュニジア、エチオピア、ガーナ、ケニア、ナイジェリア、ジブチ、モーリタニア、南スーダン、マダガスカル）

研修生の属性： ① 女性企業家支援に従事するアフリカ人行政官（5名程度）

② アフリカ人女性企業家（5名程度）

研修実施機関： 独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター（JICA 横浜）

研修監理員： JICA より、研修に同行し通訳等の業務を担当する者が1名同行します。

研修実施受託機関：アイ・シー・ネット株式会社

連絡先 ML：businesswomenexchange@icnet.co.jp

※アイ・シー・ネット株式会社の本事業担当者全員が含まれています。

事業背景： 2013年6月に横浜市で開催された第5回アフリカ開発会議(TICADV)において、アフリカの今後の経済開発の重要な要素として、女性の役割について議論がなされた。同会議で採択された「横浜宣言 2013」で「ジェンダーの主流化」が掲げられるとともに、「横浜行動計画 2013-2017」においても重点分野の1つとして「アフリカ女性のリーダーシップ、マネジメント、起業における能力強化」が記載されるなど、女性の社会進出の促進や、女性企業家支援の重要性が再確認された。

日本政府は支援策として、“日アフリカ・ビジネスウーマン交流プログラム（本事業の旧称）”の立ち上げを表明した。さらに同会議サイドイベント「女性の活躍と経済成長」の成果として、横浜市とJICAの連携のもと、アフリカ女性企業家支援に関する研修の実施が打ち出された。

このような背景により、本事業を JICA の研修事業として毎年開催し、今年で 10 回目を迎える。英語圏・仏語圏アフリカ諸国よりのべ 26 カ国、137 名の女性企業家支援に従事する行政官と女性企業家を招へいし、交流プログラムが実施された。

2020 年から新たに「社会起業家」というサブテーマを掲げ、女性企業家の事業と社会課題とのつながりについて考察するプログラムを組み込んでいる。日本の女性社会起業家や、社会課題の解決に寄与するビジネスを展開する女性企業家と交流し、社会的企業や SDGs への取り組みについて意見交換する。

事業目標： アフリカにおける女性のビジネス・起業を推進する。

- 単元目標：
- ①アフリカ諸国及び日本における女性のビジネス・起業の実践と推進に向けた知見や経験・課題が共有される。
 - ②ビジネスの実践や拡大に必要な女性たちの能力が強化される。
 - ③社会課題の解決への貢献を意識したビジネスの実践の必要性が理解される。
 - ④各国における女性のビジネス・起業を推進するためのアクションプランが作成される。